

第45期 期末報告書

(2021年3月1日～2022年2月28日)

● 株主・投資家の皆様へ

2021年9月にオープンした、初のPRO業態とHC業態のハイブリッド(一体型)店舗「国道171号向日町店」



証券コード7516


コーナン
コーナン商事株式会社

株主の皆様へ

第45期(2021年3月1日～2022年2月28日) の事業の状況

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第45期(2022年2月期)の概況についてご報告申し上げます。

第45期は、前年の新型コロナウイルス感染症拡大によるマスクや消毒液など感染対策品の反動減や、巣ごもり需要によるインテリア・収納用品などの反動減に加え、8月の長雨や12月の気温の低下の遅れによる季節商品の不振の影響を大きく受ける状況となりました。一方、建築需要の回復を受け、リフォーム工事やプロ向けの資材や工具、作業用品などは、好調に推移いたしました。結果として、コーナングループ連結で、売上高は4,257億4百万円(前年同期比0.3%減、計画比0.4%減)、売上総利益は1,604億95百万円(同0.2%減、同0.9%減)、営業利益は257億88百万円(同16.6%減、同1.1%増)、経常利益は242億6百万円(同18.7%減、同0.9%増)、当期純利益は155億90百万円(同16.4%減、同4.4%減)となり、各数値において、前年を下回る結果となりましたが、コロナ前の前々年と比較しますと約20%以上の伸びとなっており、着実に成長できております。新規出店につきましては、ホームセンターを13店舗、コーナンPROを5店舗、CAMP DEPOTを5店舗、建デポを3店舗の計26店舗をオープンしたため、第45期末時点のグループ店舗数は502店舗となりました。

第46期は、長期ビジョン“New Stage 2025”の実現に向けて、第3次中期経営計画“～ずっと大好きや!! コーナン～これからもあなたにぴったり”の2年目となります。業績予想としては、コーナングループ連結で、売上高4,320億円(前年同期比4%増)、売上総利益1,656億円(同4%増)、営業利益260億円(同0.6%増)、経常利益244億円(同0.6%増)、当期純利益158億円(同1%増)を計画しております。なお、第46期より「収益認識に関する会計基準」等を適用しており、前年同期比は、前年度の実績に新しい会計基準を適用したと仮定して算出しております。足元の状況を見ますと、不安定な世界情勢のもと、急激な円安の進行、原材料費の高騰及び海上運賃の上昇などによる輸入コストの増加、加えて燃料費の値上がりによる水道光熱費の上昇などマイナス要因が多く、厳しい経営環境ではございますが、当社の強みであるPRO業態の強



代表取締役社長 足田 直太郎

化を一層進め、新規出店や既存店の改装も随時行うことで売上の底上げを図ると共に、DXを活用した生産性の向上により人件費などの経費コントロールを確実にに行い、売上・利益計画の達成を目指してまいります。

株主還元の充実

当社は、株主の皆様に対する利益の還元を経営上の重要課題の一つとして位置づけ、業績の見通し、事業活動への投資、財務健全性などを総合的に判断しながら、長期にわたって安定した配当を実施することを基本方針としております。

この方針のもと、第45期は1株当たり中間配当35円と期末配当35円を合わせて70円の配当といたしました。これにより8期連続の増配となりました。さらに、第46期の配当につきましては、中間、期末ともそれぞれ10円増配し、1株当たり年間90円の配当を予定しております。また、2022年4月11日に公表しました通り、総額40億円を上限とした自己株式の取得もおこないます。取得し得る株式総数の上限については、120万株(発行済株式総数(自己株式を除く))に対する割合3.69%)であります。自己株式の取得については、当社の株主還元の基本方針に沿って、業績ならびに株価水準等に応じ、今後も適宜検討してまいります。株主還元の目標として、第3次中期経営計画期間中(2021-2025)につきましては、総還元性向30%以上、D O E(株主資本配当率)2.0%を目指すことといたします。引き続き、投資計画および財務の健全性維持などを総合的に勘案して利益還元を継続してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き絶大なるご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。